



飯田OIDE長姫高校は

飯田工業高校と飯田長姫高校が統合し、平成25年に開校した総合技術高校です。
 全日制6学科、定時制2学科の県下最大規模の高校です。

全日制	機械工学科 電子機械工学科 電気電子工学科 社会基盤工学科 建築学科 商業科(2クラス)	定時制	普通科 基礎工学科 (2・3・4年のみ)
在籍生徒		898名	



機械工学科 / 「課題研究」

機械工学科は、『ものづくり』を通じて、豊かな創造力と現代社会を生き抜く力の伸長を目指しています。機械設計や機械工作、製図では“機械の基礎”となる知識をしっかりと蓄え、実習をとおして機械加工の技術を磨いています。「課題研究」では、グループディスカッションやICT機器を活用したアンケート調査を取り入れるなど、現代に生きる課題解決型の『ものづくり』に挑戦し、授業で学んだ機械の知識・技術を活かして、『ものづくり』を楽しく学んでいます。



社会基盤工学科 / 「測量実習」

社会基盤工学科は、測量や土木施工、土木基礎力学などの学習や、測量実習などの授業を通し、地域に根差す土木技術者を目指す学科です。
 1年生の測量実習では、レベルと呼ばれる器械を用いて高低差を測り、地盤高を求めています。初めて触れる器械に戸惑いながらも、積極的かつ元気に行っています。一人ひとりが役割を果たし、仲間と協力し声を掛け合い行っています。



建築学科 / 「RC施工実習」

3年生の実習では鉄筋コンクリート造(RC造)の施工実習を行っています。測量～足場の組立、鉄筋の組立～型枠の取り付けまでを10名のグループで作業を行います。実際の建設現場と同様に服装は上下作業着用(夏場でも長袖です)。ヘルメットや軍手、安全帯(転落防止の装具)を着用して作業を行います。現場では「安全第一」に作業を行うことが重要です。また、1人で作業は行わず、仲間と協力して行うことが大切で、実習中は常に声を掛け合って進めています。



商業科 / 「地域人教育」

～自ら考え、自ら行動する力を伸ばす～
 商業科では「地域人教育」を3年間学びます。「地域人教育」とは、地域の“問題”や“素敵どころ”を自ら発見し、地域の活性化に向けて自ら考え、自ら行動することを学ぶ授業です。3年生は、ほぼ毎週地域に出かけるプログラムになっています。4月22日(金)、連携する飯田市の佐藤健市長をお招きし、「地域人教育」を学ぶ意義や飯田下伊那の暮らしと産業の魅力、生徒たちへの期待などについて講演していただきました。生徒たちは熱心に話を聴くだけに留まらず、市長に質問する姿が見られました。

中学生体験入学 待ってます！！

令和4年 7月27日(水)

9:00～全体会・体験入学(学科見学など)
 12:30～部活動見学(希望者) ☆ 申込みは、中学校の先生へ

電子機械工学科 / 「マイコンカーグランプリ」

電子機械工学科は機械・電気電子・制御の3分野を総合的に学ぶ学科です。幅広い基礎知識と技術を学ぶ中で、ものづくりの楽しさを知り、機械系から電気電子系、プログラム系まで様々な分野に進学・就職活躍する人材を育成しています。
 5月11日(水)、本科独自の行事である第4回マイコンカーグランプリを開催しました。3年間かけて設計・製作・調整を重ねた各自のマイコンカーは本科の学びの集大成です。一斉に走行させてコンマ1秒を競い合うグランプリは大いに盛り上がりました。



電気電子工学科 / 「第二種電気工事士試験」

電気電子工学科では、電気エネルギーを発生する発電や送電など電力分野と、スマホ等の電子回路・パソコンに関連した情報通信分野をバランスよく学びます。
 1学期は、2年生を中心に「第二種電気工事士試験」受験に向けた取り組みをしています。現在筆記試験に向け、朝と放課後の補習に多くの生徒が参加し、互いに学びあっています。



普通科の授業

本校ではもちろん、国語、数学、英語といった普通教科の授業もあります。1年生は、はじめてのテストを終え、3年生は進路実現に向け日々勉強に励んでいます。3年次の選択科目で希望の進路に合わせ、普通教科をたくさん選択することも可能です。



部活動

運動部18、文化部11と多様なクラブが活発に活動しています。
 野球部は、春季大会で強豪私立高校を破り、県ベスト16という成績をおさめることが出来ました。7月に開幕する選手権大会に向け、甲子園を目指して頑張っています。
 他にも、男子バスケットボール、テニス、ソフトテニス、卓球、柔道、弓道、空手道が南信大会で好成績をおさめました。
 文化部もコンクールや大会に向けて頑張っています。

「OIDE」とは…

- O・・・Originality (独創)
- I・・・Imagination (想像)
- D・・・Device (工夫)
- E・・・Effort (努力)

総合技術高校とは

複数の学科がそれぞれに高い専門性を保ちつつ、学科相互の基礎的な科目や学科横断的な専門科目を学ぶ高校のことです。



本校の2年生全員が総合技術科目「地域ビジネスと環境」を学び、3年生では、工業と商業の相互の基礎科目や「地域活性プロジェクト」、「経営実践」などの多様な科目を各自の進路と興味に応じて幅広く選択することができます。「ものを作る」と「もの売る」とには密接な関係があります。「売れるもの」を作るには、工業と商業の両方の知識・技術が必要になります。そのような視野の広い、多方面で活躍できる人材を育てていくことが、総合技術高校の目標です。

「地域協創教育『虹』」

本校では令和元年度より文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業プロフェッショナル型」の指定校に認定されたことを機に、地域や企業の方と協力し次のような本校独自の探究学習を展開しています。



地元企業の方の講演会 SDG's 学習 企業指導による実践的な学び 地域でのフィールドワーク

- 1年** 学習プログラム「協創教育基礎」(必修)
 普通科目の授業の中で経済分析や災害対策、文化事業など地域理解の基礎を学び、飯田のまちづくりの課題と方向性を探究します。
- 2年** 総合技術科目「地域ビジネスと環境」(必修)
 企業活動に関わるビジネスの基礎と環境(SDG's)についてグループ学習や地域の方を講師に招いて学びます。
- 3年** 「課題研究(必修)」「地域活性プロジェクト(選択)」
 地域活性化のための課題解決型学習を地域の企業との協働によって展開します。各学科の専門性と最新のIoT技術を活用しながら、実践的な学びを深め、地域を担う人材に必要な資質・能力を育てていきます。